

地域協働活動

地域協働活動マッチングシステムや魅力化コーディネーターを通じて、高校生が参加した地域活動です。

保育ボランティア （4/6、6/11、8/12） 〔参加〕4名 〔連携〕ちどり保育所	福祉ボランティア （7/2） 〔参加〕1名 〔連携〕特別養護老人ホーム美川苑
きみとぼくの虹の色文化祭 （4/17） 〔参加〕1名 〔連携〕きみとぼくの虹の色文化祭実行委員会	親子防災 （7/24） 〔参加〕1名 〔連携〕浜田市防災安全課 長浜まちづくりセンター
放課後児童クラブボランティア実習 （5/21より計8回）〔参加〕31名 〔連携〕浜田市内放課後児童クラブ（7学級）	にこにこ広場 （8/2） 〔参加〕2名〔連携〕浜田まちづくりセンター 放課後児童クラブ「若潮学級」
しまねトランポリンクラブ （6/11） 〔参加〕2名 〔連携〕しまねトランポリンクラブ	百歳体操 （9/17） 〔参加〕1名 〔連携〕いきいき健康サロン・社会福祉協議会

地域イベントに参加して、
より地域の人の魅力や人の
つながりを感じることができた！

自分が探究していることにつ
いて、地域の方と一緒に活動
できて、学ぶことが多かった！

地域の高齢者の方とふれあ
うことで、より看護の道をしっ
かり目指していきたいと思った！

指示待ちではなく主体的に動いて
これからの活躍が楽しみな生徒さんでした！

高校生と一緒に活動することで、
私たちも気づかせてもらうことが
たくさんありました！

参加した生徒の感想

受け入れ先の感想

キャリア・探究活動コーディネート

魅力化コーディネーターが高校生の進路や探究テーマに合わせて地域とつなぎ、より深く学べるようサポートしました。

古民家視察 （6/18） 〔参加〕1名 〔連携〕尾田家	乳児検診視察、保健師との対話 （8/10） 〔参加〕1名 〔連携〕子育て世代包括支援センター「すくすく」
クロスロードゲーム体験会 （7/22） 〔参加〕1名 〔連携〕殿町まちづくり委員会	はまだCAPとの対話 （8/16） 〔参加〕1名 〔連携〕はまだCAP

HAMADA 魅力化パートナーバンク

HAMADA 魅力化パートナーバンクには、すでに様々な方にご登録いただいています！教育課程内外で高校生と共に学び、活動・応援してくれる『魅力化パートナー』を引き続き募集しています♪

（活動事例：高校の探究活動での地域ゲスト、探究の伴走、対話型学習への参加など）

登録者募集中！
詳細は浜田市 HP へ



〔発行元〕HAMADA 教育魅力化コンソーシアム事務局

住所：〒697-8501 浜田市殿町1番地 浜田市教育委員会学校教育課内

電話：（0855）25-9710 FAX：（0855）22-5090

メール：gakkou@city.hamada.lg.jp



HAMADA 教育魅力化 コンソーシアムだより

R4 vol.1
（10月発行）

HAMADA 教育魅力化コンソーシアムは、学校と地域の連携協働を通して「地域とともにある学校づくり」と「魅力ある学びによる人づくり」と「地域活性化の好循環に寄与」することを目指しています。各学校と連携して、教育課程内、部活動、放課後・休日等、様々な場面で地域協働活動を展開してきました。

このおたよりでは令和4年4月から9月までの各学校やコンソーシアム事業の様子を紹介し、市内の高等学校等の魅力のある教育活動をみなさまにお知らせします。

コンソーシアムの活動

高校生が地域とつながり、地域とともに未来を描いていくことをより推進していくために、今年度は高校生「地域協働活動」プロジェクト“未来”として、3つの取り組みに力を入れています！

高校生「地域協働活動」プロジェクト“未来”

地域協働活動 マッチングシステム

高校生と地域をつなぎ、高校生の主体的な地域活動について、地域住民等が共に活動したり支援する仕組みです。

魅力化 パートナーバンク

高校生の学びや活動を支援するとともに、高校生との対話を通して共感・共有しようとする地域住民バンクです。

探究活動 HAMADA Wi-Wi

高校生が、自分の未来を見つめるとともに、地域課題の解決に取り組みながら浜田の未来を考えるプログラムです。

今年度初開催！ 探究活動 HAMADA Wi-Wi

Wi-Wi(ワイワイ)は「Wish」と「With」を組み合わせた造語で、高校生たちの“Wish(やってみたい！ やりたい！)”を、地域の大人も“With(みんなで一緒に)” ワイワイ楽しく地域で取り組もう♪という願いを込めています。7月23日(土)に「探究体験フィールドワーク」、8月6日(土)に「探究ワークショップ」を実施しました。

計14名が参加！
「探究体験フィールドワーク」

旭町や金城町でフィールドワークを行った後、地域課題の解決プランを考えるグループワークを行いました！

地域の大人が伴走者に！
「探究ワークショップ」

高校生の興味関心を引き出しながら対話を通じてプロジェクトを具体化するワークショップを行いました！



両日の様子をまとめた「活動報告レポート」は、浜田市 HP に掲載しています。

魅力化コーディネーター紹介



熊谷 修山
コーディネーター
（浜田高校担当）

学校や地域での学びを自分のキャリアにどうつなげていくかを言語化、可視化していくことを生徒との対話を通して支援する「ライティングセンター」の機能を担っています。



大地本 由佳
コーディネーター
（商業・水産高校担当）

探究活動やボランティア活動などと地域のひと・もの・ことをつなげる支援や、地域人材の発掘、大人の学びやつながりづくりを担っています。

各学校の魅力ある教育活動

浜田高校（全日制）

理数科2年生、島大実習に参加！

浜高理数科の2年生34名が、9月5日（月）～7日（木）に島大総合理工学部・生物資源科学部との連携で行われた実習に参加しました。6つの専門分野に分かれ、昼間は大学の先生や学生の指導の下、研究室の専門機材も使用しながら実習や研究を行いました。夜は宿舎での夕食の後、レポートや資料をまとめ最終日のポスター発表会に備えました。発表会では、大学の先生方の前で、緊張しながら各班の研究成果を発表しました。「見学するだけでなく大学での学びを体感できる」生徒にとっては、まさに浜高理数科らしい3日間の体験となりました。



島大実習の様子（写真上下）



浜田商業高校

デザインをカタチに

令和2年度から3年度にかけて、浜田商業高校では高校現場には珍しい様々な先端機器の導入を進めてきました。その中でもUVプリンタとレーザー加工機の2つの機器を併用すれば、オリジナルキーグッズを作成することが可能になりました。これまではグラフィックソフトの使い方を学び、デザインをするのみでしたが、現在では実際に「形」にできます。さらに生徒がデザインしたオリジナルグッズに売価をつけ、浜商デパートなどの販売実習や地元土産店で販売するという、浜田商業にしかできないビジネスモデルの構築を目指しています。



生徒がデザインしたストリートプレートとコルクコースター（写真上）、キーホルダー（写真下）



浜田水産高校

原井小学校との学びの交流～出迎え授業～

9月15日（木）に、「浜田の水産業」について学習している原井小学校の5年生と出迎え授業を通して交流をしました。食品流通科では「総合実習」の授業で“かまぼこ”作りを一緒に体験し、海洋技術科では「課題研究」の授業で漁業班、養殖班、ものづくり班が取り組んでいる課題テーマに関するプチ体験をして交流しました。参加した小学生からは「将来水産高校に入りたい」といううれしい声も聞こえてきました！本校近くにある小学校なので、登下校時に会うことがあれば、お互いにあいさつを交わせる仲になるといいなと思います。



かまぼこ作り体験の様子（写真上）とはえ縄のしかけ作りの様子（写真下）



浜田高校（定時制）

グループ別研修で地域へ

浜田高校定時制では、毎年「地域に存在する魅力や課題に気づいて調べ、自然や文化に触れ、より良いあり方をまとめて発表する」ことを目的として、グループ別自主研修を行っています。今年は「仁摩コース」「温泉津コース」「久代コース」「三隅コース」の4つのコースに分かれて研修します。研修の中で、協働や積極的に行動する態度を養います。（写真は昨年度のものです）



アカサ見学の様子



発表会の様子

浜田ろう学校

浜ろうフェスティバル

9月23日（金・祝）、3年ぶりに地域の方々や島根県立大学生、また卒業生を招いて、浜ろうフェスティバルを開催しました。中高企画“みんなで綱引き&玉入れ”では、地域の皆様との混成チームを作り、全力で楽しみました。児童生徒会企画では、自分達でアイデアを出し合って制作したミュージックビデオを披露し、県立大学吹奏楽部の生演奏に合わせて会場の皆様と一緒にダンスを楽しみました。



綱引きの様子



県立大演奏でのダンスの様子



馬場 美帆
学校地域協働推進員

石見のおもしろい方々とたくさん関わることで新しい気づきや発見が生まれ、未来への選択肢が増えればと思います。

浜田高校（通信制）

ジオラマでベストクリエイティブ賞受賞

浜田高校定通校舎玄関に現在、通信制の2名の生徒が制作した「石見」をテーマにしたジオラマが飾られています。タイトルは「石見遺産 見に来んさい！」浜田藩の参勤交代の様子やアカサのシロイルカ、石見銀山等が盛り込まれた楽しいジオラマとなっています。この作品は、8月に行われた全国高校生鉄道模型コンテストでベストクリエイティブ賞を受賞しました。



受賞作品とその内部



浜田養護学校

浜田応援大使になろう

1学期は本校がある国府地域の課題を地域の方からのインタビューから探り、私たちができる地域貢献活動を考え、実践しました。2学期は範囲を広げ、浜田市の魅力や自慢についてオンラインでインタビュー後、浜田市で活躍するYouTuberの力を借りてPR応援動画を作成しました。その学習を通して、「今回知った浜田市の魅力を家族や親戚、市外県外の沢山の皆様に伝えたい」と浜田に対する思いや願いを膨らませました。



youtuber との撮影風景



1学期の様子



浅見 治輝
学校地域協働推進員

「地域で生きる自分の役割って何だろう？」生徒さんと一緒に探究していきます！